

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
●URL <https://www.teijin.co.jp>

2026年6月10日

多様化するニーズに対応する専用アタッチメントを新たに開発 モバイル型RFIDリーダー「レコハンド」の展開を拡大

帝人フロンティア株式会社

帝人フロンティア株式会社（本社：大阪市北区、社長：鎌田 進）は、独自の二次元通信によるRFID(*1)技術を活用した管理システムである「Reco（レコ）シリーズ」の、モバイル型ICタグリーダーである「Reco Hand（レコハンド）」を展開し、その第一弾として人差し指に読み取り部分を搭載した「GLOVE（グローブ）タイプ」を発売しています。このたび、多様化する現場ニーズに対応するために、新たな専用アタッチメントを3種類開発しました。これらの専用アタッチメントは、用途に応じて付け替えて使用し、電波照射範囲を最適化することで、狙った範囲のICタグを正確に読み取ることができます。

(*1)Radio Frequency Identification の略。電波や電磁波を用いて、非接触でICタグの情報を読み書きする自動認識技術。

1. 専用アタッチメントについて

(1) 近年、ICタグの普及に伴い、RFIDリーダーには、電波照射範囲を絞った読み取り性や手軽に扱える携帯性、リーダー1台で複数の用途に対応可能な柔軟性など、多様な性能が求められています。

(2) こうしたニーズに対応するため、帝人フロンティアは、既に発売している「GLOVEタイプ」に加え、「レコハンド」リーダーを、利用シーンに応じて柔軟に使い分けができる専用アタッチメントとして、「BEAM（ビーム）タイプ」「MAT（マット）タイプ」「PEN（ペン）タイプ」の3種類を新たに開発しました。

(3) これらの専用アタッチメントは、「レコハンド」の読み取り範囲と用途に応じて組み合わせることで、「必要な対象を狙って読み取る」というコンセプトのもと、作業の確実性と効率性の向上を実現します。



2. 専用アタッチメントの特長

(1) 「レコハンド」リーダーを組み込むアタッチメントを付け替えるだけで、利用シーンに応じた運用が可能です。また、共通のリーダーを使用することによりSDK（ソフトウェア開発キット）も共通化されるため、利用シーンごとに個別のアプリを開発する必要がありません。

(2) 複数のOS（基本ソフトウェア）にも対応していることから、既存システムとの連携も

可能です。

(3) 新たに開発した3種類の専用アタッチメントの特長は以下の通りです。

■ BEAM タイプ

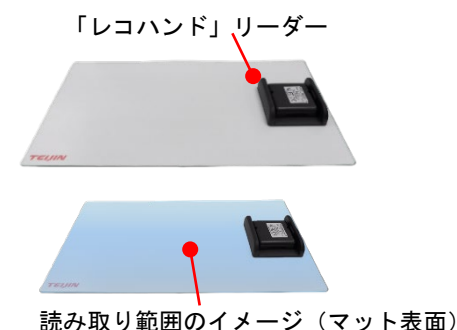
- 寸法：幅 168 mm × 奥行 88.5mm
- 読み取り範囲：約 1m 以内の近距離から中距離(*2)
- 使用例：箱の投入口付近に設置し、読み取り範囲を通過させながら対象物を箱に投入するだけで、対象物の情報を自動的に記録することができ、作業の省力化と記録精度の向上を実現します。

(*2) 対象物や使用環境により異なります。



■ MAT タイプ

- 寸法：幅 340 mm × 奥行 186mm
- 読み取り範囲：マット上に置いた物品に限定
- 使用例：販売接客の際に、提案商品をマットの上に置くことで、商談履歴を自動的に記録できるため、購買に至らなかった商品も含めた商談活動の可視化が可能です。また、持ち運びができるため、使用場所の制限がありません。



■ PEN タイプ

- 寸法：長さ 134mm
- 読み取り範囲：ペン先の狭い範囲に限定
- 使用例：極小 IC タグが狭い範囲に複数存在する場合でも、個品単位で的確に読み取ることが可能で、医療・化粧品分野における小型・高額製品の正確なシリアル管理を実現します。



3. 今後の展開

(1) 今般開発したアタッチメントは、2026年度から国内外で販売を開始します。IC タグの普及が進む北米・欧州市場を中心としたグローバル市場にも展開していきます。

(2) 今後、アタッチメントのラインアップ拡充を図るとともに、「レコハンド」全体で2028年度に3億円、2030年度に5億円の売上を目指します。

以上

【 当件のお問合せ先 】

帝人フロンティア株式会社 広報部 TEL: (06) 6233-2180